

| | | | |
|------------|--|---------|-------------------------|
| ふりがな 氏名 | ささき しんご 佐々木 真吾 | 職名 | 准教授 |
| 取得学位 | 博士(文学) | 学会での受賞歴 | 日本発達心理学会第31回学会賞(令和4年3月) |
| 主な担当科目 | 教育心理学、保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、子育て支援 | | |
| 所属学会 | 日本心理学会、日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本認知心理学会、法と心理学会、日本子ども虐待防止学会 | | |

◆ 教育業績

| 事項 | 実施年月(日) | 概要 |
|--|----------------|---|
| 「教育心理学」および「保育の心理学」、「子ども家庭支援の心理学」でのアクティブ・ラーニング(名古屋女子大学) | 平成30年4月～令和4年3月 | 保育・教育実践に関わる心理学知識の定着を目指し、学生に「リアクションペーパー」の提出を毎時間求めた。課題の内容は、「講義の復習」と「自己の経験と関連づけた感想の記述」である。これにより、学習内容の深い理解と定着を目指した。 |

◆ 研究業績

| 区分 | 著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称 | 単・共 | 発行・発表年月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名) | 備考 |
|----|--|-----|------------|----------------------------------|--|
| 著書 | シリーズ教育・保育の論点 教授法と子ども理解 | 共 | 令和元年7月 | 三恵社 | 編:名古屋女子大学文学部 著者:荒川志津代、市村由貴、小椋郁夫、佐々木真吾他 全142ページ中、「第3章 いじめや虐待を確認する面接技法—教育・保育現場における司法面接の活用—」(pp.17-24)を執筆 |
| | シリーズ教育・保育の論点 新時代の学び | 共 | 令和3年7月 | 三恵社 | 編:名古屋女子大学文学部 著者:市村由貴、小椋郁夫、勝田拓真、佐々木真吾他 全136ページ中、「第1章 生涯発達心理学からの保護者理解」(pp. 1-8)を執筆 |
| | 児童虐待における司法面接と子ども支援——ともに歩むネットワーク構築をめざして—— | 共 | 令和3年12月 | 北大路書房 | 編:田中晶子、安田裕子、上宮愛 著者:田中晶子、安田裕子、上宮愛、佐々木真吾他 全260ページ中、「第5章 教育・保育現場における事実確認の問題」(pp. 77-89)を執筆 |

| 区分 | 著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称 | 単・共 | 発行・発表年月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名) | 備考 |
|----|--|-----|------------|----------------------------------|---|
| 著書 | 子どもの話を聴く——司法面接の科学と技法—— | 共 | 令和4年6月 | ちとせプレス | 著:デブラ・A・プール 訳:司法面接研究会 訳:仲真紀子、羽渕由子、 <u>佐々木真吾</u> 他 「第5章 定型的な内容——本題の段階——」(pp. 125-165.)を執筆 |
| | シリーズ教育・保育の論点 学びの深化 | 共 | 令和4年7月 | 三恵社 | 編:名古屋女子大学文学部 著者:市村由貴、勝田拓真、 <u>佐々木真吾</u> 他 「第3章 子どもの心の健康とその課題」(pp.19-26.)を執筆 |
| 論文 | 保育科学生に対する司法面接演習の効果——子どもへの面接に対する意識調査から—— | 単 | 平成31年3月 | 名古屋女子大学紀要、65号 | pp.125-136 |
| | 保育科学生と教職員に対する司法面接研修の効果——面接中の発話の分析—— | 単 | 令和2年3月 | 名古屋女子大学紀要、66号 | pp.113-126 |
| | 保育科学生と他学部生の親準備性の比較——保護者理解と支援に向けて—— | 共 | 令和2年3月 | 名古屋女子大学紀要、66号 | <u>佐々木真吾</u> 、山田真歩 pp.265-274 |
| | 質問の仕方と出来事内の重要度の違いが想記に及ぼす影響:「だいたい」と「正確」 | 共 | 令和2年9月 | 発達心理学研究、31巻 | <u>佐々木真吾</u> 、仲真紀子 pp.118-129 |
| | 褒めるか叱るか曖昧な状況での親の養育態度がレジリエンスと保育観の発達に及ぼす影響 | 単 | 令和3年3月 | 名古屋女子大学紀要、67号 | pp.35-43 |
| | 虐待報告の聞き取り形式と子どもの報告の詳細さ、司法面接の知識が教職員の虐待判断とその後の対応に及ぼす影響 | 単 | 令和3年3月 | 名古屋女子大学紀要、67号 | pp.59-70 |

| 区 分 | 著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称 | 単 ・ 共 | 発 行・ 発 表 年月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名) | 備 考 |
|------|--|-------------|----------------------|---|---|
| 論 文 | 褒めるか叱るか曖昧な状況での親 の養育態度が自尊感情と自己・他 者スキーマに及ぼす影響 | 共 | 令和4年3 月 | 名古屋女子大学紀要、 68号 | 佐々木真吾、陣後瑞希 pp.65-75 |
| 学会発表 | 子どもから事実を聞き取る面接技 術——司法面接の教育現場での 活用に向けて—— | 共 | 平成30年 9月 | 日本教育心理学会第60 回総会(慶応義塾大学日 吉キャンパス) | 羽瀧由子、仲真紀子、佐々木真 吾、田中晶子、保坂亨 発表論文集p.100-101 (自主企画シンポジウム) |
| | 幼少期の褒められる・叱られる経験 がレジリエンス、保育観に及ぼす 影響 | 単 | 令和元年 9月 | 日本心理学会第83回大 会(立命館大学いばらき キャンパス) | 発表論文集 p.2C-051 (ポスター発表) |
| | 子どもから話をきく方法: 司法面接 (NICHD ガイドライン)を学ぼう(1) ～(3) | 共 | 令和元年 9月 | 日本心理学会第83回大 会(立命館大学いばらき キャンパス) | 羽瀧由子、上宮愛、安田裕子、 赤嶺亜紀、佐々木真吾、仲真紀 子、田中周子、田中晶子 発表論文集p.IS-012、IS-014、 IS-015 (大会準備委員会企画シンポジ ウム) |
| | 虐待が疑われる児童に対する保育 者の初期面接 | 単 | 令和元年 9月 | 日本教育心理学会第61 回総会(日本大学文理学 部) | 発表論文集p.345 (ポスター発表) |
| | オンラインによる司法面接研修: 課 題と展望 | 共 | 令和2年 9月 | 日本心理学会第84回大 会(東洋大学、オンライ ン開催) | 羽瀧由子、山本 渉太、田中晶 子、ローリーメラニー、萩野谷俊 平、サンティラペッカ、仲真紀 子、佐々木真吾、上宮愛、松尾 加代 発表論文集p. SS-002 (公募シンポジウム) |
| | 簡易な言語表現によるフレーミン グと購入文脈が購入意思決定に及 ぼす影響 | 単 | 令和2年 9月 | 日本心理学会第84回大 会(東洋大学、オンライ ン開催) | 発表論文集 p. PI-056 (ポスター発表) |
| | D. A. Poole 著 『Interviewing Children』から学ぶこと | 共 | 令和2年 10月 | 法と心理学会第21回大 会(オンライン開催) | 田中晶子、羽瀧由子、仲真紀 子、安田裕子、田中周子、佐々 木真吾、田鍋佳子、赤嶺亜紀 大会プログラム p. 7 (ワークショップ) |

| 区分 | 著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称 | 単・共 | 発行・発表年月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名) | 備考 |
|--------------|--|-----|------------|----------------------------------|--|
| 学会発表 | 「思い出」を科学する——自伝的記憶研究の現在と未来5—— | 共 | 令和3年9月 | 日本心理学会第85回大会(明星大学、オンライン開催) | 山本晃輔、榎洋一、瀧川真也、杉森絵里子、 <u>佐々木真吾</u> 、小林剛史、清水寛之、伊東裕司 発表論文集 p. SS-014 (公募シンポジウム) |
| | 学習プリントの形式と児童の学習意欲の関連性——小学校3年生の割り算文章題による検討—— | 単 | 令和3年8月 | 日本教育心理学会第63回総会(オンライン開催) | 発表論文集 p. PB-092 (ポスター発表) |
| | 曖昧場面での褒められる・叱られる経験が自尊心と自己・他者についてのスキーマに及ぼす影響 | 単 | 令和3年9月 | 日本心理学会第85回大会(明星大学、オンライン開催) | 発表論文集 p. PO-075 (ポスター発表) |
| | 質問の仕方と出来事内の重要度の違いが想起に及ぼす影響:「だいたい」と「正確」 | 単 | 令和4年3月 | 日本発達心理学会第33回大会(オンライン) | 発表論文集 p. 7AM2-B-SL01 (学会賞受賞者講演) |
| その他 (報告書) | 「公と私の間」となる発達心理学の在り方 | 単 | 令和元年10月 | 日本発達心理学会 ニュースレター、第88号 | pp.7-8 |
| | 法と心理学会第21回大会ワークショップ D. A. Poole 著『Interviewing Children』から学ぶこと | 共 | 令和3年12月 | 法と心理学、第21巻1号 | 田中晶子、羽瀧由子、仲真紀子、 <u>佐々木真吾</u> 他 pp. 91-97. |
| | 学会賞を受賞して | 単 | 令和4年10月 | 日本発達心理学会 ニュースレター、第97号 | pp.12-13. |